

在宅医療・介護連携推進事業

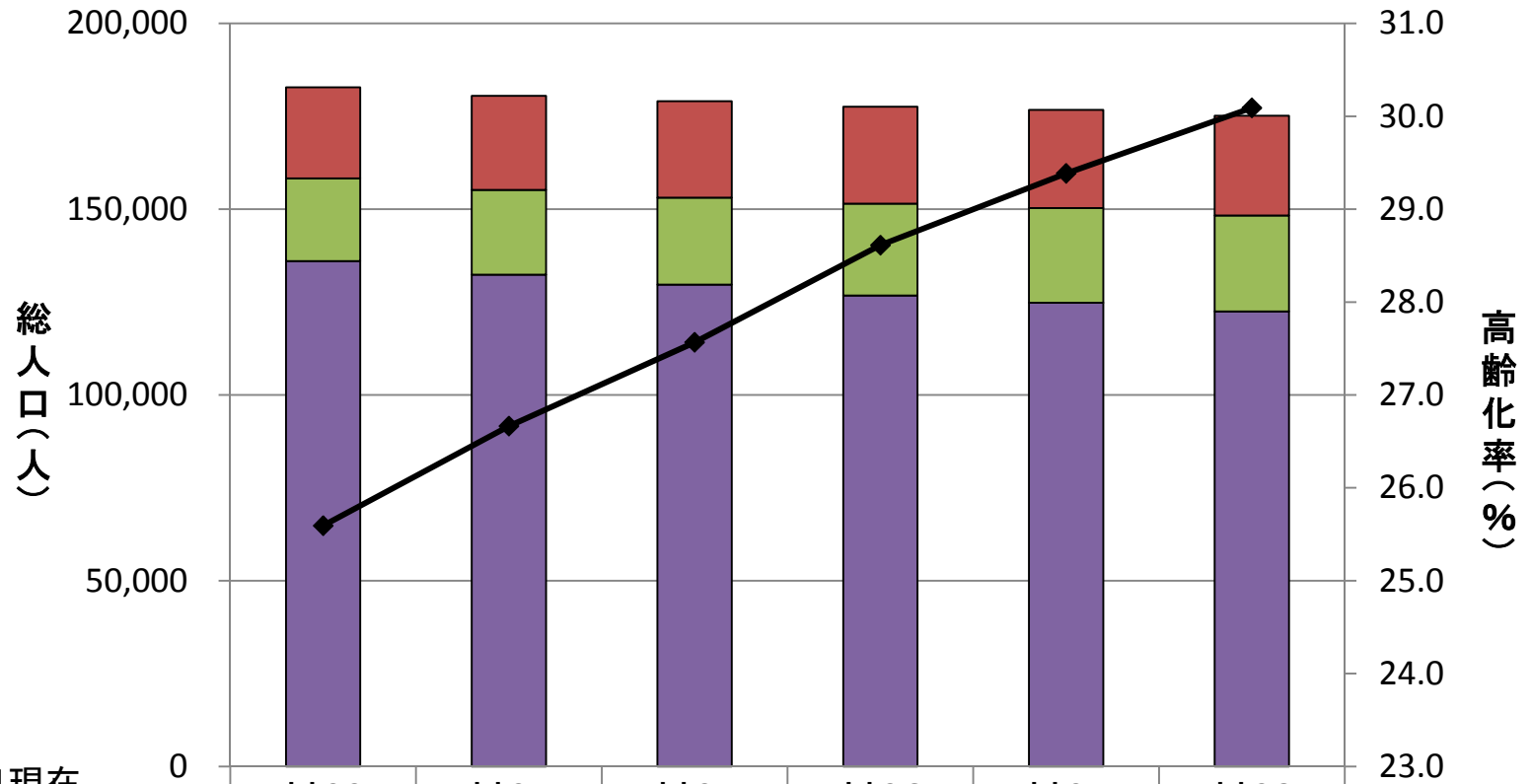
平成29年12月作成

弘前市 健康福祉部 介護福祉課



弘前市マスコットキャラクター
たか丸くん

弘前市の人口と高齢化率の推移

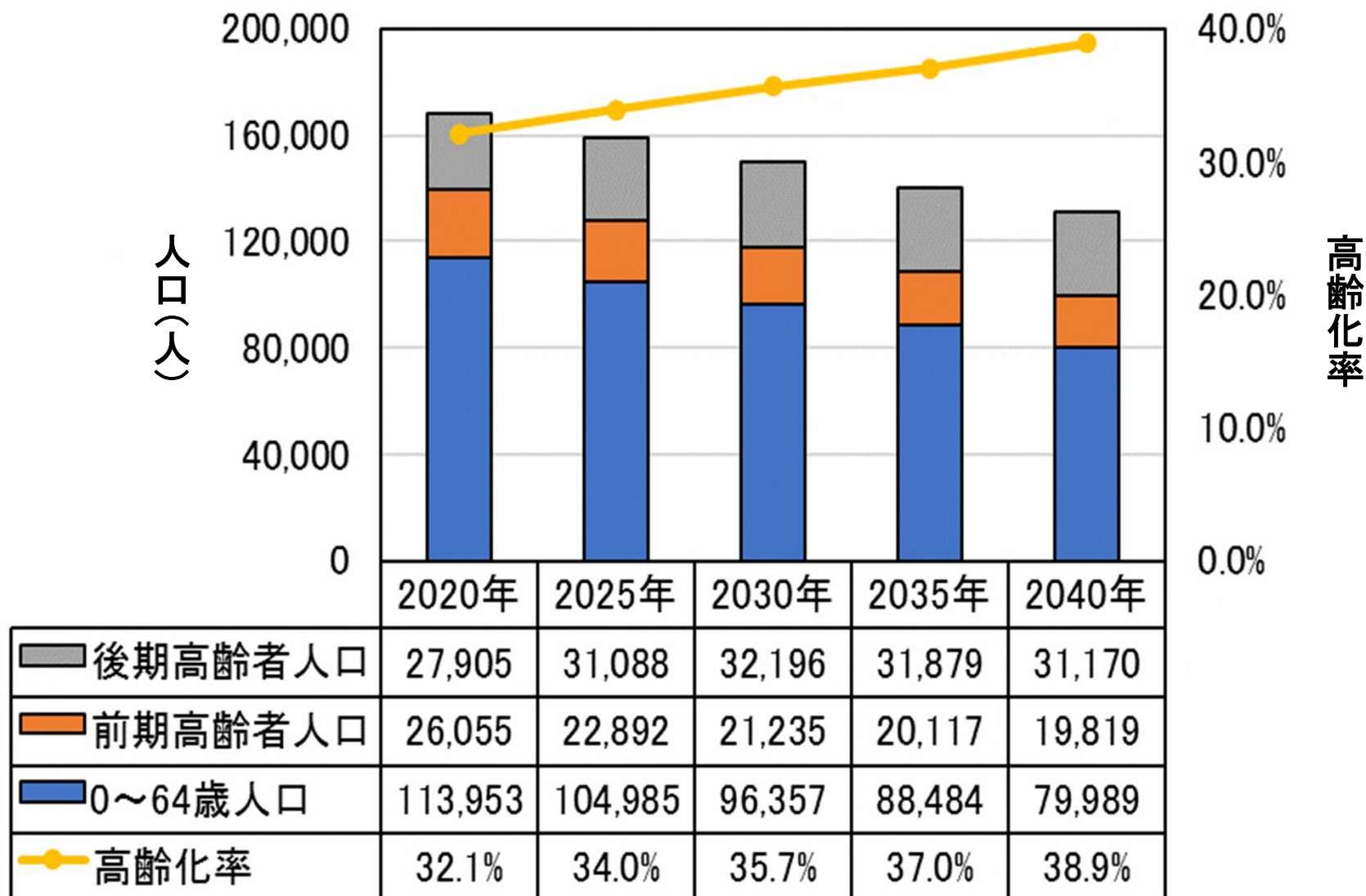


※各年10月1日現在

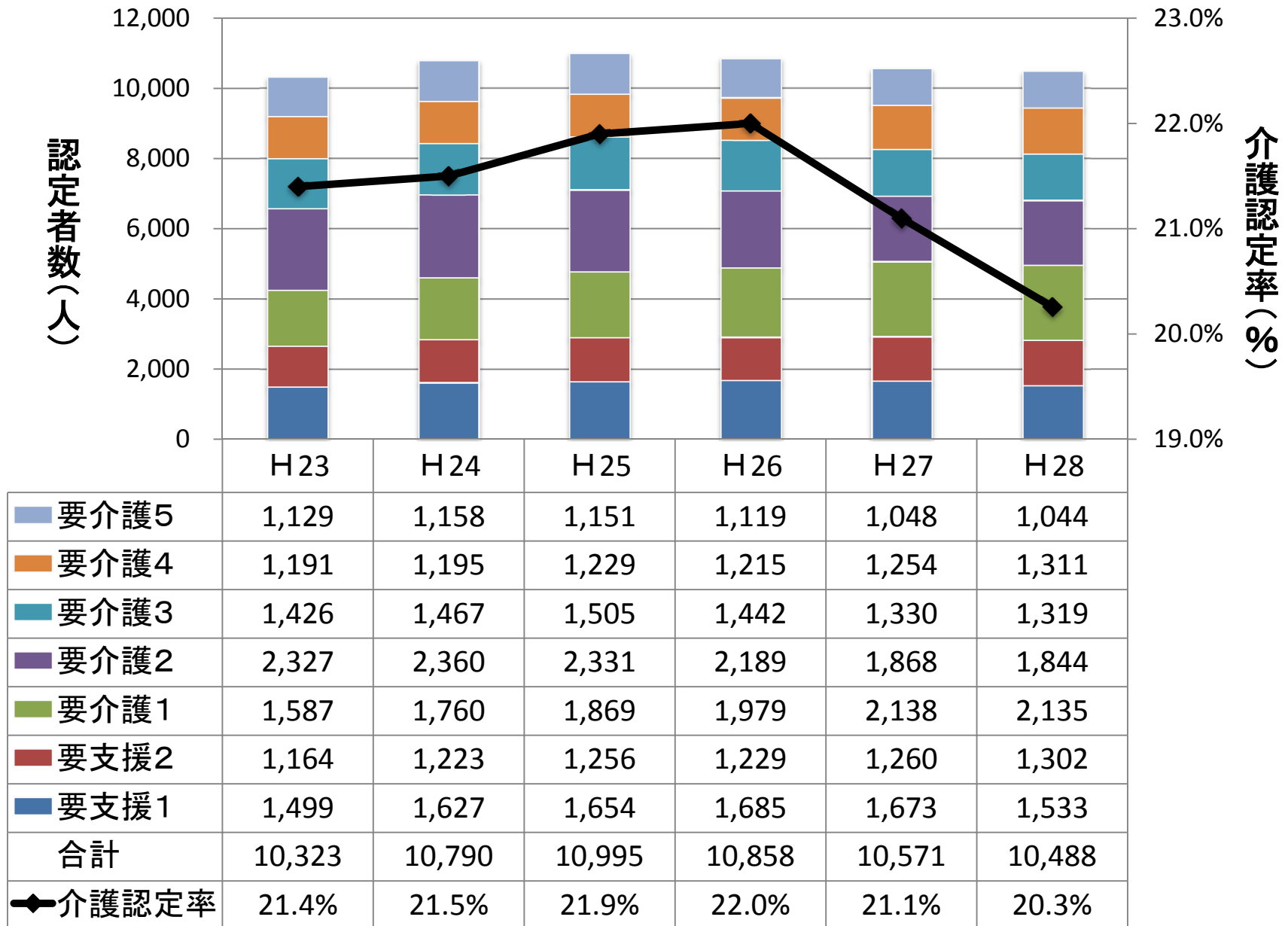
	H 23	H 24	H 25	H 26	H 27	H 28
後期高齢者(75歳以上)	24,531	25,323	25,961	26,093	26,421	26,855
前期高齢者(65～74歳)	22,258	22,813	23,398	24,717	25,514	25,860
0～64歳人口	136,033	132,389	129,693	126,768	124,804	122,468
総人口	182,822	180,525	179,052	177,578	176,739	175,183
◆高齢化率	25.6	26.7	27.6	28.6	29.4	30.1

人口ピラミッドより

弘前市の人口と高齢化率の将来推計



弘前市の介護認定等認定者数の推移



地域包括支援センター

- 日常生活圏域 7圏域
- 地域包括支援センター 委託7カ所

職員数

平成29年12月現在

センター名	保健師等	社会福祉士	主任 ケアマネ	予防給付 プラン担当	その他
第一地域包括支援センター	1	1	1	3	1
第二地域包括支援センター	1	1	1	3	
第三地域包括支援センター	1	1	1	6	(1プラン担当兼務)
東部地域包括支援センター	1	1	1	2	2
西部地域包括支援センター	1	1	1	2	1
南部地域包括支援センター	1	1	2	6	(1プラン担当兼務)
北部地域包括支援センター	1	1	1	2	

弘前市の医療資源

平成28年10月現在

	施設数	在宅療養 支援1	在宅療養 支援2	在宅療養 支援3
病院	15	0	1	0
診療所	有床 46 無床 100	0	6	20
歯科	97	—	—	—
薬局	107	—	—	—

日本医師会 地域医療情報システムより

高齢者を取り巻く現状

- 介護認定率は減少傾向。しかし、国、県平均よりは高い。
 - 介護給付費はH25年度をピークに減少傾向。県平均より高い。
 - 人口10万人あたりの医療機関数は全国平均と比べ多い。
 - 75歳以上1千人あたりの介護事業所数も全国平均と比べ多い。
- 市内中心部と郡部とでは地域資源、生活環境等が異なり、抱える地域課題も異なる。

弘前市在宅医療・介護連携推進事業

平成28年4月から開始

「一般社団法人弘前市医師会」へ業務を委託

●弘前地区在宅医療・介護連携支援センターそよかぜ●

<http://www.hirosaki.aomori.med.or.jp/soyokaze/>



【取組状況】

ア 地域の医療・介護の資源の把握

- 医療機関、訪問看護事業所にアンケート実施。
- 医療、介護資源情報（高齢者介護保健福祉ガイドブック情報含む）をマップ化し、そよかぜホームページに掲載。

【取組状況】

イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

- 医師会介護保険委員会にて事業内容検討。
- 弘前市医師会が導入している「在宅医療介護連携情報共有システム」上で、アンケートにより抽出された課題を検討。
- 各地域包括支援センターの地域ケア会議にそよかぜ相談員が参加(9回)。
- 弘前市地域包括支援センター支援連携会議を開催。

【取組状況】

ウ 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

- 主治医不在時の看取り対応体制整備
→「医師会あんしんネットワーク」開設。
- 在宅患者の救急受診時の対応体制整備
→「弘前救急安心連携カード(仮)」の検討中。
- 医療介護連携調整実証事業(弘前保健所事業)にて津軽圏域における入退院調整ルールの検討、及びモニタリング調査実施。

【取組状況】

エ 医療・介護関係者の情報共有の構築 推進

- 「在宅医療介護連携システム」導入中。
医療機関、関係機関においてシステム上にて
患者情報の共有。

【取組状況】

才 在宅医療・介護連携に関する相談支援

- 医師会保健師が専任で従事。

<平成28年度実績>

相談者数：141名

地域住民、医療機関、
地域包括支援センター等

相談件数：148件

地域資源情報、情報共有支援、
相談連携支援等



【取組状況】

力 医療・介護関係者の研修

- 平成28年度
5回開催、計478人参加（共催含む）
内容：不眠症治療、めまい治療、
在宅医療と栄養管理、褥瘡 等
- 平成29年度 11月末時点
10回開催、計922人参加（共催含む）
内容：在宅医療の症例検討 等

在宅症例検討会 の様子



【取組状況】

キ 地域住民への普及啓発

- 市民公開講座
平成28年度
2回開催、計264人参加。
内容：健康寿命延伸、職場での健康づくり
平成29年度 11月末時点
230名以上参加。
内容：終活・看取り・在宅医療
- パンフレット「あんしん在宅医療」を住民、関係機関に配布。

市民公開講座 の様子

平成28年度 市民公開講座

健康長寿の秘訣教えます ～健康寿命を延ばすために～

プログラム

- 挨拶 弘前市医師会 副会長 秋山 邦男 先生
弘前市タリニック 副会長
- 講演 講師 坂本 祥一 先生
 - 1) 「病気をしない秘訣～長寿は健診から～」
東北アスレティック専門学校 副校長 坂本 祥一 先生
 - 2) 「筋肉を減らさない秘訣～長寿は運動から～」
弘前整形外科 院長 山内 正三 先生
 - 3) 「栄養バランスを保つ秘訣～長寿は食事から～」
弘前大学医学部附属病院 内科学科副科長 講師 村上 宏 先生

と き 平成28年11月27日(日)
13:30～15:00

と ころ 土手町コミュニケーションプラザ1階
多目的ホール(弘前市土手町31番地)

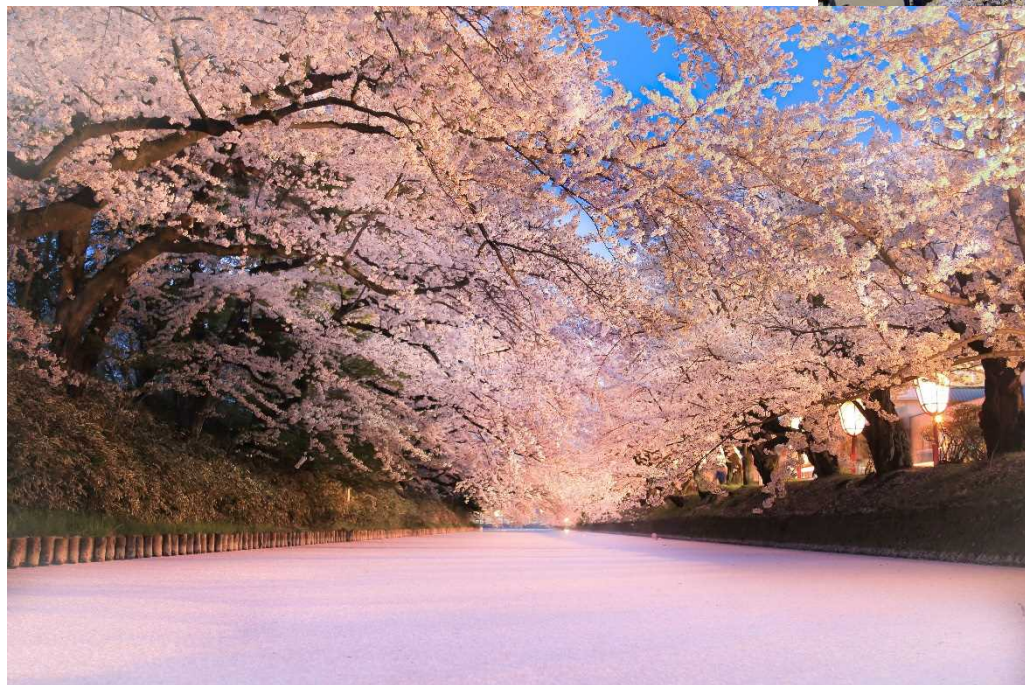
主 催 一般社団法人弘前市医師会(弘前市東区南長巻一介養護福祉センターもよぎ)
お問い合わせ: 弘前市医師会事務局 TEL0172-32-2371 (代表)



【取組状況】

ク 在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携

- 医療介護連携調整実証事業（弘前保健所事業）において津軽圏域における入退院調整ルールを他市町村と検討。取組状況についても情報交換。



弘前さくらまつりは
平成30(2018)年で
100周年！